

いろいろな「—税」を耳にし、またしばしば口にするが、私は、税金についてほんの少しの知識しかもつてない。

しかし、「税金が、どんな理由で徴収され、どんなことに使われるのかな」と考へることがある。先生から「租税教室」という言葉がどんなものか調べてみた。

「租税」とは、「国家や地方公共団体が、その経費にあてるため、國民から強制的に徴収する金錢」とあつた。「その経費にあてるた普通、本屋などに行つて、自分



税について

井上松応（横芝中二年）

いろいろな教材などの集金があった。私は、いろいろな集金があるのにどうして教科書の集金がないのだろうと思つた。このことは、年を増すごとに自分で理解ができた。つま

め」とあるが、経費とは、どんなことに使われたのだろうか。私の知識の一つであるかも知れないが、小学校に入学して間もなく

の欲する本があれば、お金を払わなければいけないので、学校では本をもらつてもお金を払わなくてもいいのかと思つたりした。事実、

り、私達の父母が払つた「税金」というものが、本の代金を払つてくれたのであつた。

このように、「税金」は、教

育的な面で使われているとい

うことは、ある程度知つていた。

そして「租税教室」を読んで、

その他にもまだ税金が使われて

いるのを知つた。これからもい

ろいろな機会や人の話などを参

考にして、「税金」がどのように

徴収され、また、それが私たち

の生活にどのように役立つてい

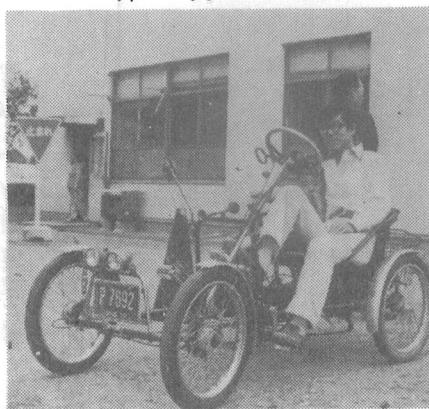
るかを、自分なりに理解してい

たいと思う。

（税を知る週間応募作文から）

自慢あれこれ
⑯ クラシック自転車

堺 明さん（新生会）



町民のひろば



横芝俳壇

木下石果子
ひとりとの蘭が句える母の部屋
夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
安井ゆづる

横芝句会十一月例会

池田 和代
佐々木久子

土屋 栗水

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

寄せ鍋の煮崩れてゆく時雨かな

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

石川 奇水

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

虹群れて茶の花散らす日和かな

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

成田 懇子

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

茶の花や目路のものみなすがれつ

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

夕時雨土を啞（くわ）えし鍬をお

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

宇井 芝童

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

時雨るるや零這い落つ松の幹

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

成田 懇子

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

夕時雨土を啞（くわ）えし鍬をお

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

性急に妻を呼ぶなり村時雨

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

孫の頬温くき部屋なり時雨ても

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

三枝 句城

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

さざめきの懐しき声石蕗の花

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

藤代 ゆう

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

向後 雅子

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子

夕時雨糸を焼く火のまた燃えて
佐々木久子